

学年	教科等	主題名及び資料名	日時
第6学年	道徳	自分自身に誠実に（「のりづけされた詩」：学研）	平成29年2月3日（金）
本実践の主張	(1)ー① 学習テーマとしての発問 誠実に行動する様々な姿について「どんな姿が、誠実なのだろうか。」と問うことで、誠実に行動することが容易な場合と困難な場合があることを具体的に引き出し、誠実な行動に対する理想と現実の差に気付くことができるようにする。		
	(1)ー② 教材をとおして道徳的価値を追求していく際の発問 誠実に行動することが困難な状況から、どのようにして誠実さを発揮していくのか、また誠実に行動することのよさは何かについて考えさせる。そのために、仲間の考えを基に和枝の誠実な行動について問い返したり、教材に書かれていないその後の和枝と友達の様子について問うたりすることで、和枝の心情に共感できるようにしたり、誠実に行動することの困難さとよさを理解できるようにしたりする。		
	(1)ー③ 納得解を得られるようにするための発問 和枝の誠実さに対する考えと、本時の学習をとおして学んだ誠実さに対する自分の考えとを比較できるようにノートに書かせる。そして、その差について認識させたいうえで、教材での和枝が誠実だったところはどこかについて考えさせることで、誠実に対する納得解を得られるようにする。		

資料とねらいとする価値

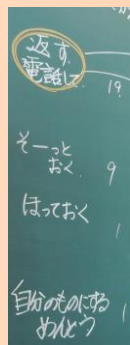
詩を作るのが得意で、周囲からもその能力を認められていた和枝は、学級文集に載せる詩の始めが上手く表現できずに悩んでいた。そんなとき、本棚から何となく詩集を取り、目をとおすと、自分が表現しようとしている内容とぴったりの詩が載っていた。その後、出来上がった学級文集には詩集から一部分を剽窃した和枝の詩が載っていた。しかし、和枝はそれがどうしても気に入って先生に相談する。和枝の揺れ動く心情に焦点をあて、問題意識をもって仲間と道徳的価値を追求していくことをとおして、ねらいとする価値に迫りたい。

導入



持って帰った磁石をどうする？

私は、ちゃんと訳を伝えて返します。



そっと置くというのは誠実なの？



ふと、ポケットに入れてしまった学校の磁石について、自分らどうするかを考えました。

そうなんだ…。違う考え方もあるんだ。どうしてかなあ。

展開



「どんな姿が誠実なのか」というテーマを中心に、和枝の思いについて考えさせました。和枝は何に悩み、なぜ剽窃したのかについて、考えさせました。

「どうして分かってしまうようなことをしたのか」「怒られるのが嫌な気持ちとみんなに分かるのが嫌な気持ちのどちらが大きいのかな」等と問い返し、和枝に共感させるとともに誠実に行動することの難しさについて考えました。



終末

子どもは和枝が誠実であろうとしたところについて、自分とは違う仲間の考えを聞いて「なるほど!」という思いをもつことができました。また、仲間が「自分は誠実ではないな。」という思いについても、簡単に考えられることではないと考えていました。

自分の価値観を図や言葉等で表しながら、互いの価値観について「そのようにも考えられる。」等と納得することができました。仲間の考えに対して「どうなのかなあ。」等と考えることができました。



御意見・御質問はこちら（研究部アドレス）

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

授業実践計画

○ ねらい

A	[正直, 誠実]	自分自身に偽りなく、誇りをもって明るく生活していこうとする態度を育てる。
2	誠実に、明るい心で生活すること。	

○ 指導過程

◎・・・最も主張したい手立て

学習活動及び学習内容(◇主な発問)	教師のかかわり
<p>1 誠実に対する価値観を見つめ直し、問題意識をもつ。</p> <p>○ 価値観の見つめ直し</p> <p>◇ 「間違っていました。」と打ち明ける姿を「誠実」と言うけど、他にどういうのがあるか。</p> <p>◇ ○○さんの考えについて、みんなはどう考えるか。できないときもあるのはどうしてなのか。</p> <p>○ 学習テーマ</p> <p>どんな姿が、誠実なのだろうか。</p>	<p>○ 「テストに採点ミスがあったらどうするか。」等と問い、「言う」か「言わない」について考えさせることで、誠実に行動する難しさに気付かせる。</p> <p>そのうえで、他の場面を子どもとともに出し、「困難なものは、誠実にしなくてもよいのではないか。」と問い、子どもに「でも。」「いや、待てよ。」等の問題意識をもたせるようにする。</p>
<p>2 教材「のりづけされた詩」への問題意識をもつための視点について確認する。</p> <p>○ 和枝の悩みと解決方法</p>	<p>○ 変わっていく和枝の表情を挿絵で提示しながら、「和枝の悩みと解決方法」に着目するよう伝えることで、教材の中にある誠実さに対する問題を探っていく視点を明確にする。</p>
<p>3 教材「のりづけされた詩」をとおして議論し、学習テーマに対する価値観を広げ深める。</p> <p>○ 原稿を渡した後の和枝の気持ち</p> <p>◇ 和枝はどうして悩んでいたのだろう。</p> <p>◇ その後の状況の想像がつくのにならうして剽窃してしまったのだろう。</p> <p>○ 剽窃したことについて考える和枝の気持ち</p> <p>◇ 和枝の心が大きく揺れ動いたときはどんな気持ちなのだろう。</p> <p>◇ 先生に打ち明けると決心をしたのはなぜか。</p> <p>○ 月曜日、文集を見つけている和枝の気持ち</p> <p>◇ 貼り直した詩を見て何を考えたのだろう。</p> <p>○ 和枝の誠実さについて</p> <p>◇ 和枝が誠実であろうとしたところはどこか。</p> <p>◇ この後、和枝さんは友達に何を聞かれるか。そして、和枝さんは何と答えるか。</p>	<p>○ 和枝は詩を書くのが得意だということを共有したうえで、和枝の悩みを構造的に板書し、子どもの考えからその理由を問うことで、和枝の深い悩みに共感できるようにする。</p> <p>○ 和枝の立場に立って考えさせる発問をし、子どもの考えから問い返していくことで、和枝の揺れ動く気持ちを理解できるようにする。</p> <p>そのうえで、和枝が先生に打ち明けた理由を問うことで、誠実に行動することのよさについて考えを深めることができるようにする。</p> <p>◎ 資料全体を見渡して和枝が誠実であろうとした瞬間はどこか議論することで、ねらいとする価値を追求していくことができるようにする。</p> <p>○ 教材に描かれていない和枝と友達とのやりとりについて想像させることで、誠実な行動のについて考えられるようにする。</p>
<p>4 深めた価値観について言葉に表出し、納得解を得る。</p> <p>○ 和枝や自分の誠実さを大切に思う気持ちについて</p> <p>◇ どうして和枝は誠実にできたのか。</p> <p>◇ 自分は誠実にできるのか。それはなぜか。</p> <p>○ 「誠実でいたい」と思う心について</p>	<p>○ 和枝や自分の誠実さを大切に思う気持ちを問い、誠実に行動することの理想とその実現への難しさの差を感じとらせることで、自らの納得解を得られるようにする。</p> <p>○ 「誠実にできないかもしれない。」と書いた子どもがいたら、「誠実にできない=誠実でない」かどうかを全体に問うことで、誠実な気持ちをもつことについて考えを深めることができるようにする。</p>

○ 本時でめざす子どもの姿

誠実でありたい、誠実に生きたい、といった考えは、自分に誇りをもつためにも大切なのだ。誠実に行動することって難しいけれども、そうしていこうとする気持ちはずっともち続けて、生活していきたいな。

